

カトリック河原町教会だより

2021年9・10月

教皇フランシスコ 2021年4月18日「アレルヤの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

復活節第三主日の今日、イエスが「パンを裂いてくださったときに」（ルカ 24・35）、それがイエスだと分かりました。この福音箇所は、とても具体的な三つの動詞により特徴づけられます。見る、触る、食べるという三つの動詞です。それらはある意味、わたしたちの個人生活と共同体生活を映し出しています。この三つの動きにより、生きているイエスとの真の出会いによってわき出る喜びがもたらされます。

見る。見るというのは、ただ見る以上のことです。そこには意志が伴います。だからこそ、それは愛を表す動詞の一つなのです。親はわが子を見守ります。恋人たちは互いに見つめ合います。よい医者患者を注意深く見ます。見ることは、無関心に対抗する、そして、他者の困難や苦しみをみて見ぬふりをすることに対抗する、最初のステップです。第二の動詞は、触る、です。イエスは弟子たちにご自分に触るよう招き——わたしに触りなさい——、ご自身が亡霊ではないことをはっきりさせようとします。愛には、見ることも必要ですが、寄り添うことが欠かせません。触れあい、人生を分かちあうことが必要なのです。イエスを愛するということは、いのちの交わりに入ること、イエスと交わることを意味するのです。今度は、三番目の動詞、食べる、です。復活したイエスも、弟子たちとともに食事をされます。聖体祭儀がキリスト教共同体を象徴するしるしとなっているほどです。キリストのからだをともに食べる、それこそがキリスト者の生活の核心です。



兄弟姉妹の皆さん、この福音箇所は、イエスは「亡霊」ではなく生きておられるかたであることを、そして、イエスはわたしたちに近づき、信じられないほど、驚くほど、大きな喜びを与えてくださることを伝えています。その驚きは、神の現存だけがもたらすことのできるものです。キリスト者であることは、信条でも道徳的な理想でもなく、復活した主との生き生きとした結びつきです。わたしたちは主を

見て、触り、主から栄養をいただき、主の愛によって変えられます。

教会の様子(Instagramより)



友としてのイエス
『アビラの聖テレジア 10月15日』

アビラの聖テレジアは1515年、スペインのアビラで生まれました。9歳にもならない内、殉教者の伝記を読み始めた幼いテレジアの心の中に殉教への望みが生まれましました。そして彼女は両親に、「わたしは神を見たいのです」と言いました。また、自分は真理を見いだしたと宣言し、それを二つの原理に要約しました。第一は、「この世に属するものはすべて過ぎ去る」、第二は、「神のみが永遠に、永遠に、永遠に存在する」です。

聖テレジアは霊的な生活において祈りの大切を教えてください。彼女は祈りについて次のように言います。「祈りとは、わたしたちを愛してくださっている方と二人きりで対話し、友情を深めること」です。つまり、聖テレジアにとって祈りとは仲間同士が愛情を交わし合うようなものです。私たちは親しい友と時間を過ごすとき、話し合ったり、時に沈黙をしたり、沈黙の中で相手のことを思いめぐらしたり、他の仲間たちと電話で話したりします。聖テレジアにとって祈りとは親しい友とのこのような愛情の分かち合いです。彼女は教会における様々な祈りは神様との愛情の様々な表現であると言います。例えば、友だち同士の話し合い「口祷」、対話の間の沈黙「念祷」、沈黙のなかで相手のことを思いめぐらす「黙想」、二人で他の仲間を話し合いに加えること「典礼」といえます。



聖テレジアはイエス様との真の友情の実りを次のように表現します。



「なにもものにも乱されるな、なにもものにも驚くな
すべては過ぎ去るが、神は変わらない
忍耐が、すべてに至る道、神を体験している人は
なにも欠くことがない、神のみで満ち足りる」。

「もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。」ヨハネ 15:15。実は、私たちはイエス様と友としての関係を持つことはイエス様自身の望みです。主がそれを大いに望んでおられるので、私たちは主の友になることができます。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」ヨハネ 15:16。イエス様は私たちを友として選んだだけでなく、私たちの贖いのためにご自分の命までも捨てました。

イエス様の望みに答えて、また、聖テレジアの模範に習って私たちもいつもともにいてくださる主イエスと友になりましょう。主がともにおられるならば、私たちもダビデと共に次のように言えるでしょう。

「死の陰の谷を行くときもわたしは災いを恐れない。
あなたがたと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖
それがわたしを力づける。」詩篇 23:4

洛東ブロック司牧者 シスターロサ チェリアン



河原町教会トピックス

ライムンド田中健一名誉司教様のお骨到着



7月29日に93歳で帰天されましたライムンド田中健一名誉司教様のお骨が都の聖母小聖堂に一時安置され連日沢山の方が訪問しお別れが出来ました。永遠の安息をお祈りください。



河原町教会の日常



2021年10月～12月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
10	3	日	[年間第27主日]
	10	日	[年間第28主日]
	17	日	[年間第29主日]
	23	土	洛東ブロック会議 14:00(伏見教会) Sr.テッシー 霊名く アンナ >のお祝い 18:30
	24	日	[年間第30主日] 病者の日のミサ 10:30 世界宣教の日(献金)
	31	日	[年間第31主日]
11	1	月	諸聖人
	2	火	死者の日 諸死者追悼ミサ 18:30
	7	日	[年間第32主日]
	14	日	[年間第33主日] 七五三お祝い 10:30 貧しい人のための世界祈願日
	21	日	王であるキリスト(年間第34週) 聖書週間(～28日)
	27	土	待降節黙想会 10:00(9:00より主日ミサ)
28	日	[待降節第1主日] (C年)	
12	3	金	京都教区司教座教会献堂記念日ミサ 10:30
	5	日	[待降節第2主日] 宣教地召命促進の日(献金) 菅原神父霊名くアンノ 12/5>のお祝い
	8	水	無原罪の聖マリア
	12	日	[待降節第3主日]
	19	日	[待降節第4主日]
	24	金	主の降誕ミサ 18:30・21:00
	25	土	主の降誕ミサ 7:00・10:30・13:00(英語)
26	日	聖家族 瀧野神父霊名くステファノ 12/26>のお祝い	

お知らせ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2021.7.25 クリスティーナ 武田 美都里 2021.7.25 フランシスカ 濱谷 真理子

2021.7.25 ローレンス 草野 龍星 2021.7.25 マリア 辻本 恭子

2021.8.5 マリア 西野 綾子

◆転入 ようこそ河原町教会へ

2021.8.16 ヨハネ・ノイマン 和田 徹 2021.8.20 アグネス 相良 吉美

2021.8.26 クララ 小寺 貴子

◆転出 どうぞお元気で

2021.8.20 ベルナデッタ 鈴木 歩

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2021.7.3 モニカ 戸狩 妙 2021.8.10 パウロ 池西 一夫

2021.8.28 マリア 西野 綾子 2021.8.30 アグネス 塩谷 美恵子

2021.9.4 テレジア 田中 勝子 2021.9.13 マリア 辻本 恭子

2021.9.15 無原罪の聖母 浦上 滯子

◆婚姻 おめでとうございます

2021.7.24 マキシミアノ・マリア・コルベ 平野 慶和 マリア・エリザベト 小林 まゆか

ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 9:00、18:30

日曜日 7:00、10:30、

12:00(英語・第2第4のみ)
最新の情報はウェブサイトでご
確認ください。(中止の場合有)

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシーのチーム)

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を読む会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

みんなの集い

土曜日 15:00(菅原神父)

「ヘブライ人への手紙」を読む
第1土曜日 19:10(菅原神父)「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2021.9・10 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>